

合わせて東初富テニスコートの人工芝を早急に張り替えるとともに
コート数3面を4面に増改修することを求める陳情

(平成30年度に予定されている改修計画を前倒しして)

陳情趣旨

東初富テニスコートには3面の人工芝コート(1番コート、2番コート、3番コート)がありますが、3面とも明らかに人工芝部分の耐用年数がオーバーしており、数年前からいたるところにはほころびが出てその部分に補修カーペットを張り付ける方法、いわゆる部分補修で対処してきました(別添資料-1)。そのためコート表面に段差ができ、プレーヤーが補修箇所ですまづいたり、スリップする危険がしばしば発生しています。また補修箇所にボールが当たるとボールが急に高くはねたり、ゴロになったりします。プレーヤーはこの急なボールの異常な変化に対処しようとするため腰を痛める危険性があります。

このような危険なコートで中学生大会や市民大会が行われていることは極めて危険であり大きな事故につながりかねません。一刻も早く改善すべきです。

東初富テニスコートは鎌ヶ谷市で最も使用延べ人数が多い体育施設ですが、その建設当時には鎌ヶ谷市に、人工芝テニスコートが1面もないことが問題になり、急遽梨畑を転用して建設した経緯があります。とにかく与えられた敷地にコート3面をつくりましたが、冬場になると西日が完全に目に入るため多くのプレーヤーはサングラスで対処していますが、それでもボールを見失うほど眩しいのです。使用者は長年、次回の人工芝張り替え時には是非コートの向きを変えて再配置してほしいと希望してきました。

したがって別添資料-2 のとおりコートの方向を90度変えて3面から4面にする。1面増やすことにより、異常に高い抽選予約の競争率を少しでも緩和することが可能になります。

現在ではテニスコートの標準になっている人工芝コートの建設コストは大幅にダウンしており、これらの諸問題を解決するために平成30年度5100万円で予定されている東初富テニスコート改修計画を前倒しして、人工芝を早急に張り替えるとともに、コート数3面を4面にする増改修の早期実施を陳情します。実際、この場所で陳情項目①②を実施するときの費用は、拡張の妨げとなる現在の休憩所の解体および新設を含めてもインターネットの情報から推定して、明らかに5100万円以内の予算内に収まるものと予測できます。

陳情項目

- ①危険なテニスコートを早急に改善するため、平成30年度に予定されている東初富テニスコート改修計画を前倒して、テニスコートの配置を90度変えるとともにコート面数を3面から4面にする。そのために基礎工事を一部拡張する。
- ②あわせて人工芝を全面新しいものに張り替える。

陳情者代表：

陳情賛同者

氏名	住所	印

* この署名は個人情報保護法に基づいて使用し、上記目的以外には使用しません。